

# 第 154 回 日本循環器学会東北地方会

## プログラム

会 期：平成 24 年 6 月 2 日（土）午前 8 時 35 分より  
会 場：岩手医科大学附属循環器医療センター  
（創立 60 周年記念館 8F・9F）  
盛岡市中央通 1 - 2 - 1  
TEL 019 (651) 5111

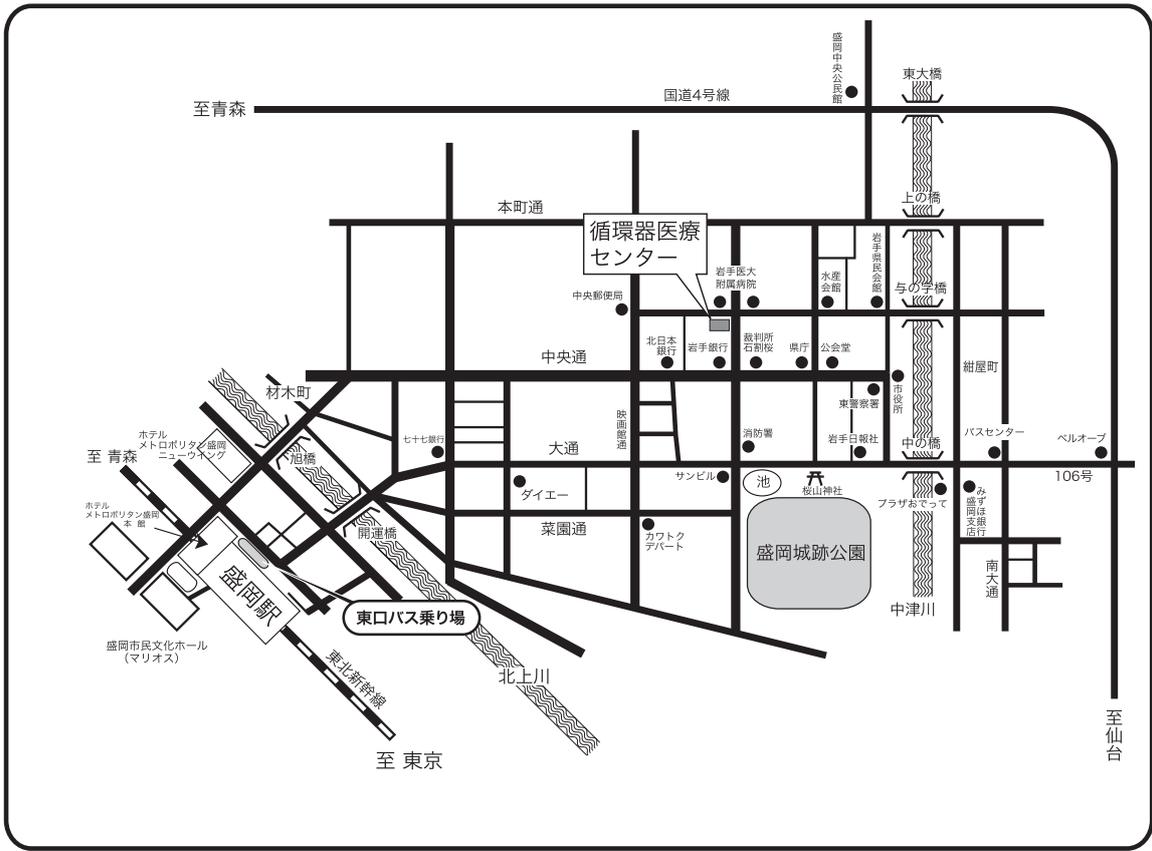
第 1 会場：9F 第二講義室  
第 2 会場：9F 第一講義室  
第 3 会場：8F 研修室

会長 伊 藤 宏

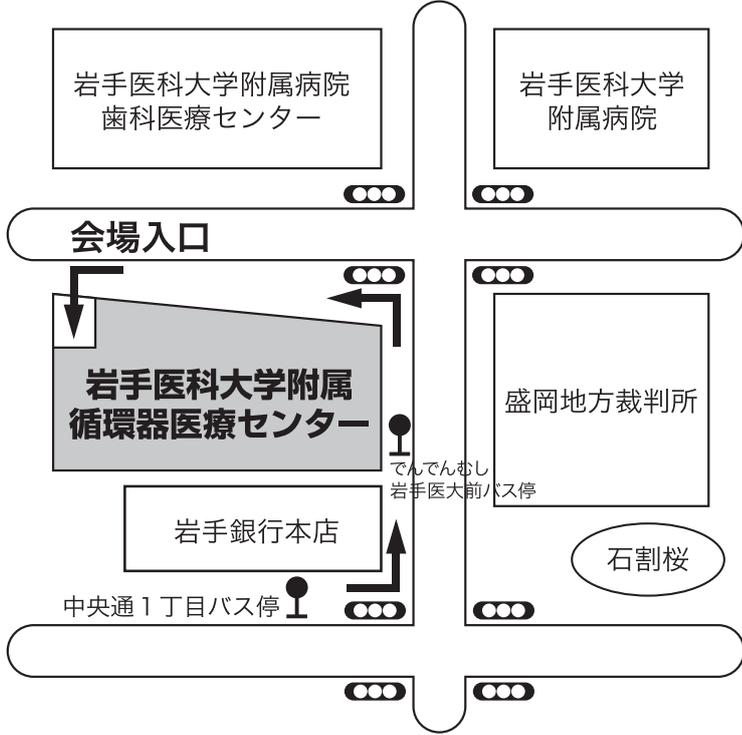
事務局：秋田大学大学院医学系研究科  
循環器内科学・呼吸器内科学  
秋田市本道一丁目 1 - 1  
TEL 018 (884) 6110  
FAX 018 (836) 2612

- 当日受付にて参加費のお支払いをお願いいたします。  
（医師 3,000 円、コメディカル 1,000 円、学生・初期研修医 無料）
- 一般演題：**発表時間は 5 分（予鈴 4 分）、追加討論 2 分、YIA の発表時間は 7 分（予鈴 6 分）、追加討論 3 分**とします。時間厳守をお願いします。  
コンピュータープレゼンテーションによる発表のみとします。  
Windows 版 Power Point 2000、2002、2003、2007、2010 で作成して下さい。
  - ・動画は使用できません。
  - ・Macintosh 及び持込 PC での発表はできません。
  - ・**発表 30 分前までに**、作成したデータを USB メモリーに入れて PC 受付にお持ち下さい。
  - ・データのファイル名には演題番号（半角）に続けて発表者の氏名（漢字）を必ず付けて下さい（例：10 岩手太郎 .ppt）。
  - ・不測の事態に備えて必ずバックアップデータをお持ち下さい。**\* 35mm スライドによる発表はできません。**
- 学術集会（5 単位）、教育セッション（3 単位）とします。
- DVD セッション「医療安全・医療倫理に関する講演会」を 3F 研修室で行います。  
専門医認定更新に必修の 2 単位が取得できます。（P25）  
追記：学会案内状・プログラムは、原則として日本循環器学会会費納入者に限り発送いたします。

# 会場案内図

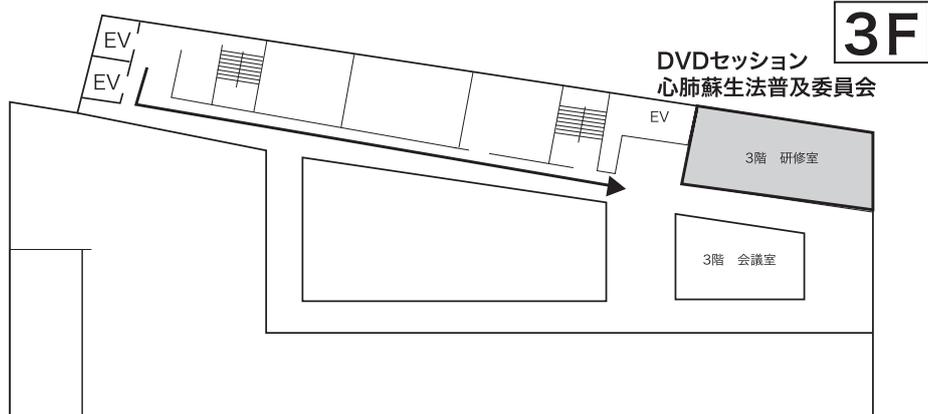
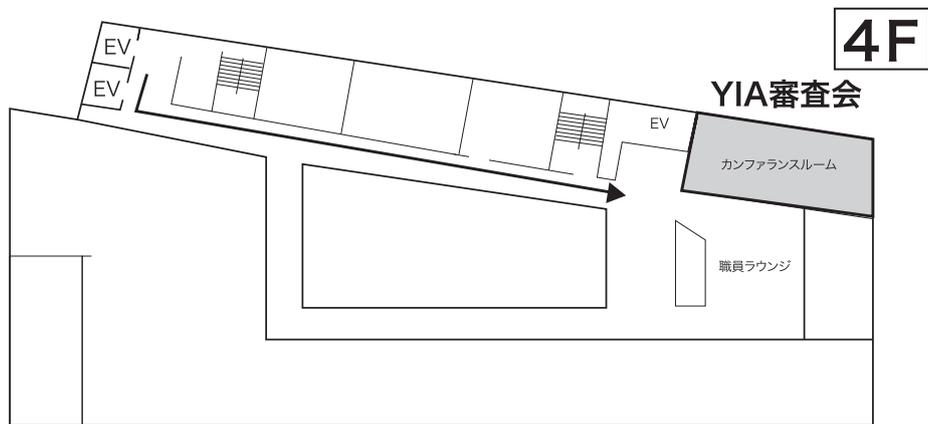
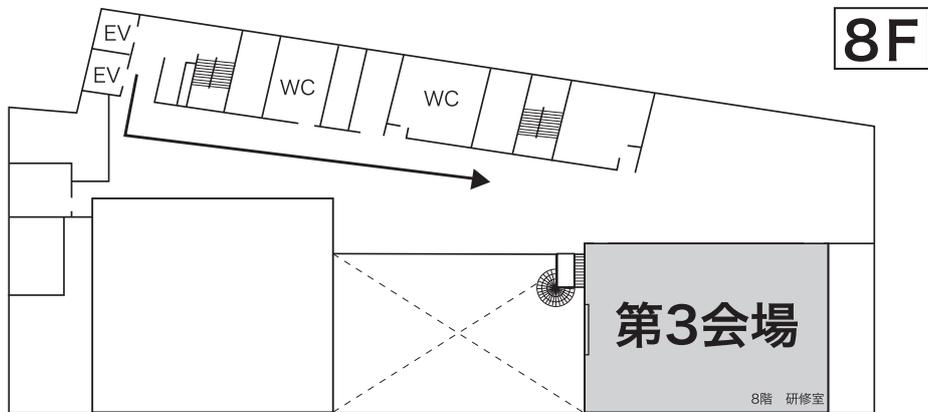
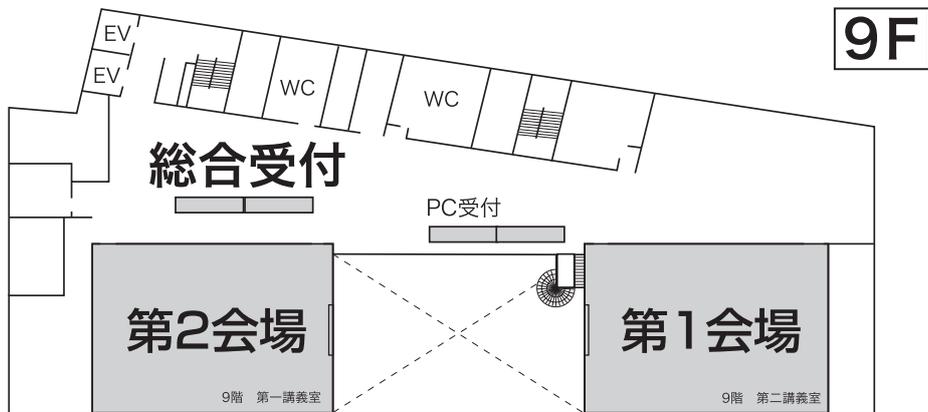


バス 盛岡駅からは東口バス乗り場より⑥番発 「盛岡バスセンター方面」、「中央通一丁目」で下車。  
 所要時間は10分です。  
 ※⑮番発 盛岡都心循環バス「でんでんむし」大人100円 「岩手医大前」下車。



**会場入口**  
 当日、岩手医科大学附属循環器医療センター（創立60周年記念館）への入場は、センター正面右側、歯科医療センターとの間の通路を進み奥の入口をご利用ください。入ってすぐエレベーターがございます。  
 ※総合受付、PC受付は9階です。

# 会場内案内図



## プログラム（敬称略）

第1会場 (9階 第二講義室)	第2会場 (9階 第一講義室)	第3会場 (8階 研修室)	研修室 (3階)	会議室 (3階)	カンファレンス室 (4階)
8:00 受付開始					
8:35～8:40 開会挨拶 会長：伊藤 宏 (秋田大学)					
8:40～9:30 YIA症例発表部門 座長：伊藤 宏 (秋田大学)	8:40～9:15 心筋炎・心筋症 座長：福本 義弘 (東北大学)	8:40～9:15 肺循環・末梢血管 座長：齋藤 修一 (福島県立医科大学)			
	9:15～9:50 虚血性心疾患1 座長：伊藤 健太 (東北大学)	9:15～9:50 不整脈1 座長：小松 隆 (岩手医科大学)			
9:30～10:20 YIA研究発表部門 座長：伊藤 宏 (秋田大学)	9:50～10:18 虚血性心疾患2 座長：飯野 健二 (秋田大学)	9:50～10:18 弁膜症・心内膜炎・その他 座長：花田 裕之 (弘前大学)	9:35～11:05 DVDセッション	講師控室	
	10:18～10:53 心臓腫瘍・その他 座長：渡邊 博之 (秋田大学)	10:18～10:53 不整脈2 座長：渡邊 哲 (山形大学)			[医療安全・医療倫理に 関する講演会]
10:20～10:55 大動脈疾患 座長：川本 俊輔 (東北大学)					
10:55～11:30 心不全・その他 座長：長内 智宏 (弘前大学)	10:53～11:28 先天性心疾患 座長：小山耕太郎 (岩手医科大学)	10:53～11:28 不整脈3 座長：鈴木 均 (福島県立医科大学)	11:15～11:25 心肺蘇生法普及委員会		
11:45～12:30 総会・YIA授賞式					
12:40～13:40 教育セッション1 ランチョンセミナー1  野出 孝一 佐賀大学医学部 循環器内科  座長：中村 元行 (岩手医科大学)	12:40～13:40 教育セッション2 ランチョンセミナー2  山本 一博 鳥取大学医学部 病態情報内科学  座長：久保田 功 (山形大学)				
13:40～14:40 教育セッション3 特別講演  森野 禎浩 岩手医科大学 循環器内科  座長：伊藤 宏 (秋田大学)					

※平成24年度より、総会は支部評議員により構成し、審議されます。  
従来通り一般会員の先生方のご参加は可能ですが、議決権は有しません。

YIA 症例発表部門（第 1 会場） 8：40～9：30

座長 伊藤 宏

1. エリスロポイエチン（Epo）＋多剤抗血小板投与により下肢切断術が延期された重症虚血肢（Fontaine4）の一例

星総合病院 循環器内科 ○小林 一貴、三浦 英介、清水 竹史  
清水 康博、後藤 洋平、松井 佑子  
金子 博智、坂本 圭司、氏家 勇一  
清野 義胤、木島 幹博、丸山 幸夫

2. 2D スペックルトラッキング心エコーが術前の部位診断に有用であった WPW 症候群を併発した肥大型心筋症の一例

山形大学 第一内科 ○和根崎真大、有本 貴範、岩山 忠輝  
石垣 大輔、沓沢 大輔、佐々木真太郎  
田村 晴俊、西山 悟史、高橋 大  
穴戸 哲郎、宮下 武彦、宮本 卓也  
二藤部丈司、青山 浩、渡邊 哲  
久保田 功

3. 心タンポナーデで発症し、外科的切除と術後化学療法により長期生存中の心臓原発悪性リンパ腫の 1 例

東北大学 循環器内科学 ○後岡広太郎、福本 義弘、杉村宏一郎  
佐藤 公雄、三浦 裕、青木 竜男  
建部 俊介、山本 沙織、下川 宏明  
熊谷紀一郎、齋木 佳克  
同上 心臓血管外科  
同上 血液・免疫科 山本 譲司、福原 規子、石澤 賢一  
張替 秀郎

4. 感染性心内膜炎様所見を呈した転移性心臓腫瘍の一例

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学 ○斉藤 翔伍、飯野 健二、新保 麻衣  
小熊 康教、小山 崇、寺田 豊  
石田 大、小坂 俊光、渡邊 博之  
伊藤 宏  
同上 心臓血管外科 山本 文雄

5. 留置後 10 年経過したベアメタルステント内に発生した不安定プラークの破綻により急性冠症候群を発症した 1 例

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座 ○横川 哲朗、国井 浩行、星野 寧人  
上岡 正志、義久 精臣、鈴木 均  
齋藤 修一、竹石 恭知

6. 冠攣縮性狭心症患者における東日本大震災の影響  
ー Rho キナーゼ活性に基づく疾患活動性の検討ー

東北大学 循環器内科学 ○二瓶 太郎、高橋 潤、菊地 翼  
高木 祐介、羽尾 清貴、圓谷 隆治  
伊藤 愛剛、松本 泰治、中山 雅晴  
伊藤 健太、下川 宏明  
国立循環器病研究センター 安田 聡

7. 冠攣縮誘発と JALS スコアの関係

山形大学 第一内科 ○舟山 哲、渡邊 哲、門脇 心平  
成味 太郎、大瀧陽一郎、本多 勇希  
長谷川寛真、本田晋太郎、石野 光則  
有本 貴範、高橋 大、穴戸 哲郎  
宮下 武彦、宮本 卓也、久保田 功

8. 冠血流予備能の長期的心血管イベントへの関与：器質的狭窄および冠攣縮を認めない症例での検討

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座 ○岩谷 章司、坂本 信雄、杉本 浩一  
八巻 尚洋、国井 浩行、中里 和彦  
鈴木 均、齋藤 修一、竹石 恭知

9. 慢性腎臓病患者に行う RIPC は造影剤腎障害を軽減する：尿中 L-FABP 測定による評価

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学 ○五十嵐 徹、飯野 健二、渡邊 博之  
伊藤 宏

10. 脈波伝播速度，増大係数，中心血圧，末梢動脈脈圧の心血管事故および死亡の予測能の比較：地域一般住民での検討

岩手医科大学 心血管・腎・内分泌内科 ○石曾根武徳、田中 文隆、佐藤 権裕  
小野寺正幸、中村 元行  
同上 循環器内科 肥田 頼彦  
熊本大学 永野 雅英

## 第1会場

### 大動脈疾患（10：20～10：55）

座長 川本 俊輔

11. Stanford A型偽腔閉塞型急性解離症例に対する Matsui Kitamura stent を使用した治療経験  
脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院 ○菅野 恵、緑川 博文、高野 隆志
12. 急性大動脈解離（stanford B, 血栓閉鎖型）の保存的加療中に肺動脈血栓塞栓症を合併した1例  
山形県立中央病院 循環器内科 ○橋本 直土、菊地 翼、菊地 順裕  
田中 修平、木下 大資、山内 毅  
高橋 克明、高橋健太郎、玉田 芳明  
福井 昭男、矢作 友保、松井 幹之  
後藤 敏和
13. 大動脈解離の偽腔による大動脈入口部狭細化に対するステント術  
米沢三友堂病院 循環器科 ○川島 理、阿部 秀樹、槇田 俊生  
仙台厚生病院 心臓血管センター 循環器内科 大友 達志、多田 憲生
14. 慎重な経過観察にもかかわらず大動脈解離を発症した Marfan 症候群合併妊娠の一例  
秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学 ○木村 俊介、石田 大、小武海雄介  
佐藤 和奏、小熊 康教、小山 崇  
寺田 豊、飯野 健二、小坂 俊光  
渡邊 博之、伊藤 宏  
同上 心臓血管外科 山本 文雄
15. Zenith TX2、8例の検討  
東北大学 心臓血管外科 ○齋藤 武志、熊谷紀一郎、川本 俊輔  
本吉 直孝、齋木 佳克

## 第1会場

### 心不全・その他（10：55～11：30）

座長 長内 智宏

16. 心血管疾患における癌の既往と予後に関する検討  
東北大学 循環器内科学 ○三浦 正暢、高田 剛史、後岡広太郎  
高橋 潤、下川 宏明  
国際医療福祉大学病院 循環器内科 柴 信行
17. 2種類の左室駆出率が維持された心不全—左室肥大の有無による新しい分類—  
仙台医療センター 循環器科 ○篠崎 毅、尾形 剛、但木壮一郎  
藤田 央、山口 展寛、尾上 紀子  
田中 光昭、石塚 豪
18. 加齢と心房細動が左室駆出率が維持された心不全に伴う中枢性睡眠時無呼吸と関連する  
仙台医療センター 循環器科 ○篠崎 毅、尾形 剛、但木壮一郎  
藤田 央、山口 展寛、尾上 紀子  
田中 光昭、石塚 豪
19. 低体温療法適応院外心肺停止蘇生例における自己心拍再開直後の12誘導心電図の意義  
仙台市立病院 循環器内科 ○山科 順裕、八木 哲夫、滑川 明男  
石田 明彦、佐藤 弘和、中川 孝  
櫻本万治郎、佐藤 英二、小松 寿里  
同上 救急部 野上 慶彦、安藤 幸吉、亀山 元信
20. 低心機能を伴う院外心肺停止蘇生例に対する急速冷却輸液による脳低体温療法の効果  
仙台市立病院 循環器内科 ○山科 順裕、八木 哲夫、滑川 明男  
石田 明彦、佐藤 弘和、中川 孝  
櫻本万治郎、佐藤 英二、小松 寿里  
同上 救急部 野上 慶彦、安藤 幸吉、亀山 元信

## 第2会場

### 心筋炎・心筋症 (8:40～9:15)

座長 福本 義弘

21. 肥大型心筋症にたこつぼ型心筋症の合併が疑われた一例  
岩手県立中部病院 循環器内科 ○芳沢 礼佑、土岐 祐介、織笠 俊樹  
盛川 宗孝、齊藤 秀典、八子多賀志
22. CRT 植え込みにて僧房弁逆流が改善した陳旧性心筋梗塞の一例  
福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座 ○秋田 堯、神山 美之、野寺 穰  
山田 慎哉、上岡 正志、鈴木 聡  
中里 和彦、鈴木 均、齋藤 修一  
竹石 恭知
23. ミトコンドリア心筋症の病態と臨床経過についての検討  
弘前大学 循環呼吸腎臓内科 ○石田 祐司、伊藤 太平、佐々木憲一  
堀内 大輔、大和田真玄、木村 正臣  
佐々木真吾、奥村 謙
24. 安静心電図同期心筋 SPECT を用いた左室肥大例における左室同期不全評価の意義  
市立秋田総合病院 循環器内科 ○中川 正康、阿部 起実、奈良 育美  
柴原 徹、藤原 敏弥  
きびら内科クリニック 鬼平 聡  
秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学 伊藤 宏
25. 多枝冠攣縮性狭心症を合併したたこつぼ心筋症の一例  
東北大学 循環器内科学 ○圓谷 隆治、高橋 潤、二瓶 太郎  
高木 祐介、伊藤 愛剛、松本 泰治  
中山 雅晴、伊藤 健太、下川 宏明

## 第2会場

### 虚血性心疾患 1 (9:15 ~ 9:50)

座長 伊藤 健太

26. 高IgE症候群の冠動脈病変に急性心筋梗塞症を合併した一例  
岩手県立中部病院 循環器内科 ○齊藤 秀典、芳沢 礼佑、西澤 健吾  
織笠 俊樹、八子多賀志
27. 特発性冠動脈解離が多発し多彩な造影所見を呈した急性心筋梗塞の一例  
東北大学 循環器内科学 ○伊藤 愛剛、高橋 潤、二瓶 太郎  
羽尾 清貴、高木 祐介、圓谷 隆治  
松本 泰治、中山 雅晴、伊藤 健太  
下川 宏明
28. PCIによる完全血行再建によりカテコラミンを離脱できた重症心不全の一例  
弘前大学 循環呼吸腎臓内科 ○遠藤 知秀、斎藤 新、舘山 俊太  
花田 賢二、横山 公章、越前 崇  
横田 貴志、山田 雅大、櫛引 基  
阿部 直樹、樋熊 拓未、長内 智宏  
奥村 謙
29. 急性心筋梗塞急性期にNo flow現象のため再灌流できなかったが慢性期に再灌流に成功した一例  
福島赤十字病院 ○近藤 愛、大和田尊之、阪本 貴之  
渡部 研一
30. 緊急心臓再同期療法を要した虚血性心筋症の一例  
東北大学 循環器内科学 ○川名 暁子、長谷部雄飛、近藤 正輝  
中野 誠、若山 裕司、福田 浩二  
下川 宏明

## 第2会場

### 虚血性心疾患2 (9:50 ~ 10:18)

座長 飯野 健二

#### 31. Leriche 症候群を伴った虚血性心筋症に対する左室形成術の1例

東北大学 心臓血管外科 ○吉岡 一郎、川本 俊輔、齋木 佳克  
同上 循環器内科学 高橋 潤、下川 宏明

#### 32. 心室中隔穿孔をきたし内科的治療後、経右室 double patch 閉鎖術にて救命し得た急性下壁心筋梗塞の1例

仙台厚生病院 心臓血管センター 循環器内科 ○箆井 宣任、多田 憲生、森 俊平  
水谷有克子、南條 光晴、加畑 充  
増田新一郎、三宅 弘恭、上村 直  
武蔵 美保、櫻井 美恵、鈴木 健之  
本多 卓、大友 潔、滝澤 要  
大友 達志、井上 直人、目黒泰一郎  
同上 心臓血管外科 阿部 和男、畑 正樹、柳沼 厳弥

#### 33. コレステロール結晶塞栓症の4例

仙台医療センター 循環器科 ○堅田 有宇、尾形 剛、但木壮一郎  
藤田 央、山口 展寛、尾上 紀子  
田中 光明、石塚 豪、篠崎 毅

#### 34. 上行大動脈プラークからの血栓塞栓による左冠動脈主幹部の急性心筋梗塞の1例

弘前大学 循環呼吸腎臓内科 ○館山 俊太、横田 貴志、横山 公章  
花田 賢二、越前 崇、阿部 直樹  
富田 泰史、樋熊 拓未、長内 智宏  
奥村 謙

## 第2会場

### 心臓腫瘍・その他 (10:18 ~ 10:53)

座長 渡邊 博之

35. 当院における若年者の病院外心肺停止の現状 ~ Autopsy imaging の結果から~  
仙台医療センター 循環器科 ○尾形 剛、藤田 央、山口 展寛  
尾上 紀子、田中 光昭、石塚 豪  
篠崎 毅
36. 微小冠動脈周囲線維化の冠動脈血流障害への関与  
東北大学 循環器内科学 ○戴 哲皓、青木 竜男、福本 義弘  
下川 宏明
37. 植込み型補助人工心臓時代の重症心不全外科治療  
東北大学 心臓血管外科 ○秋山 正年、川本 俊輔、齋木 佳克  
同上 臓器移植部 秋場 美紀、片桐 光葉  
同上 循環器内科学 福田 浩二、福本 義弘、下川 宏明
38. Calcified amorphous tumor の一手術例  
東北大学 心臓血管外科 ○増田 信也、本吉 直孝、秋山 正年  
川本 俊輔、齋木 佳克  
同上 循環器内科学 佐藤 公雄、福本 義弘、下川 宏明
39. 肺動脈肉腫の術前診断に経静脈的カテーテル擦過細胞診が有用であった一例  
石巻赤十字病院 循環器内科 ○橋本 直明、玉渕 智昭、小山 容  
祐川 博康  
山形済生病院 循環器内科 池野栄一郎  
山形大学 第二外科 内田 徹郎、大泉 弘幸、貞弘 光章

## 第2会場

先天性心疾患（10：53～11：28）

座長 小山耕太郎

40. 多発冠動脈瘤・冠動脈瘻を合併した重症僧帽弁閉鎖不全症の一例  
秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学 ○高橋久美子、新保 麻衣、山崎 大輔  
寺田 豊、渡邊 博之、伊藤 宏
41. 心房中隔欠損症に上大静脈遺残を合併した一例  
岩手県立中央病院 循環器科 ○佐藤謙二郎、斎藤 大樹、佐竹 洋之  
福井 重文、遠藤 秀晃、高橋 徹  
中村 明浩、野崎 英二、田巻 健治
42. 心室中隔欠損症が自然閉鎖した成人右室二腔症の一例  
東北厚生年金病院 循環器センター ○法井 薫、河部 周子、田淵 晴名  
山家 実、山中 多聞、中野 陽夫  
片平 美明
43. 左室心筋緻密化障害・単冠動脈を合併した左室右房交通症の一例  
秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学 ○寺田 豊、高橋久美子、山崎 大輔  
坂本 麻衣、渡邊 博之、伊藤 宏
44. MDCT を用いた膜性部心室中隔瘤の形態評価  
みやぎ東部循環器科 ○菊地 雄一、青野 豪、増田新一郎

### 第3会場

#### 肺循環・末梢血管（8：40～9：15）

座長 齋藤 修一

#### 45. 肺高血圧症を合併した Combined Pulmonary Fibrosis and Emphysema Syndrome (CPFE) の3症例

東北大学 循環器内科学 ○青木 竜男、杉村宏一郎、福本 義弘  
佐藤 公雄、三浦 裕、後岡広太郎  
建部 俊介、山本 沙織、下川 宏明

#### 46. 重症肺高血圧症を来した pulmonary tumor thrombotic microangiopathy (PTTM) の一例

東北大学 循環器内科学 ○青木 竜男、佐藤 公雄、杉村宏一郎  
三浦 裕、後岡広太郎、建部 俊介  
山本 沙織、福本 義弘、下川 宏明  
東北大学病院 病理部 笠島 敦子

#### 47. 末梢型慢性血栓栓性肺高血圧症における経皮的肺動脈形成術の最適病変の検討

東北大学 循環器内科学 ○杉村宏一郎、福本 義弘、佐藤 公雄  
三浦 裕、後岡広太郎、青木 竜男  
建部 俊介、山本 沙織、下川 宏明

#### 48. 間歇性跛行を有する末梢動脈疾患患者に対する低出力体外衝撃波治療

東北大学 先進外科学分野 ○河村圭一郎、芹澤 玄、佐藤 成  
里見 進  
同上 循環器内科学 伊藤 健太、下川 宏明

#### 49. 頸動脈狭窄に対する頸動脈内膜剥離術の経験

弘前大学 胸部心臓血管外科 ○渡辺 健一、谷口 哲、齋藤 良明  
野村 亜南、小笠原尚志、大徳 和之  
皆川 正仁、福井 康三、鈴木 保之  
福田 幾夫

### 第3会場

#### 不整脈1 (9:15 ~ 9:50)

座長 小松 隆

50. 術前心電図診断の重要性：一回の通電で根治した僧帽弁後壁起源の心室性期外収縮の一例  
山形大学 第一内科 ○沓沢 大輔、有本 貴範、石垣 大輔  
田村 晴俊、西山 悟史、高橋 大  
穴戸 哲郎、宮下 武彦、宮本 卓也  
二藤部丈司、渡邊 哲、青山 浩  
久保田 功
51. 僧房弁輪起源の心室頻拍に対してアブレーションを行った一例  
福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座 ○三浦 俊輔、神山 美之、岩谷 章司  
山田 慎哉、佐藤 崇匡、上岡 正志  
中里 和彦、鈴木 均、齋藤 修一  
竹石 恭知
52. 心室細動発症 13 ヶ月後に J-wave 症候群と診断した一例  
中通総合病院 循環器内科 ○五十嵐知規、佐藤 誠、阪本 亮平  
播間 崇記
53. 植え込み型ループレコーダーで心停止イベントを同定した一例  
東北大学 循環器内科学 ○近藤 正輝、福田 浩二、若山 裕司  
中野 誠、川名 暁子、長谷部雄飛  
下川 宏明
54. 開心術後心房頻拍に対するカテーテルアブレーションの検討  
東北大学 循環器内科学 ○近藤 正輝、福田 浩二、若山 裕司  
中野 誠、川名 暁子、長谷部雄飛  
下川 宏明

### 第3会場

#### 弁膜症・心内膜炎・その他 (9:50～10:18)

座長 花田 裕之

##### 55. 左房内血栓を合併した肺動脈血栓塞栓症の一例

山形県立中央病院 循環器内科 ○田中 修平、高橋 克明、菊地 順裕  
橋本 直土、木下 大資、山内 毅  
菊地 翼、高橋健太郎、玉田 芳明  
福井 昭男、松井 幹之、矢作 友保  
後藤 敏和

##### 56. 市中感染 MRSA による感染性心内膜炎

仙台医療センター 循環器科 ○神野 愛望、尾形 剛、但木壯一郎  
藤田 央、山口 展寛、尾上 紀子  
田中 光昭、石塚 豪、篠崎 毅

##### 57. 心不全入院患者への薬剤管理指導は生命予後と関連する

仙台医療センター 薬剤科 ○矢田 充男、板垣 礼香、諏江 裕  
同上 循環器科 尾形 剛、但木壯一郎、藤田 央  
山口 展寛、尾上 紀子、田中 光昭  
石塚 豪、篠崎 毅

##### 58. 生体弁置換術後3年半で弁機能不全をきたした慢性維持透析の1例

中通総合病院 循環器内科 ○伊藤 行信、佐藤 誠、播間 崇記  
阪本 亮平、五十嵐知規  
同上 心臓血管外科 大内 真吾、大久保 正  
きびら内科クリニック 鬼平 聡

### 第3会場

#### 不整脈2 (10:18 ~ 10:53)

座長 渡邊 哲

59. ブルガダ症候群と特発性心室細動の心電図学的特徴ならびに心室細動誘発性に関する検討  
東北大学 循環器内科学 ○中野 誠、福田 浩二、若山 裕司  
近藤 正輝、長谷部雄飛、川名 暁子  
モハメド シャフィー、下川 宏明
60. 肺静脈隔離の術中に冠攣縮を生じた一例  
岩手県立中央病院 循環器科 ○遠藤 秀晃、佐藤謙二郎、中嶋 壮太  
福井 重文、高橋 徹、中村 明浩  
野崎 英二、田巻 健治  
岩手県立胆沢病院 八木 卓也  
岩手医科大学 心血管・腎・内分泌内科 梶田 房紀、小澤 真人、小松 隆
61. 心室再同期ペーシング療法が著効した薬物治療抵抗性心不全の2症例  
岩手医科大学 循環器内科 ○臼井 雄太  
同上 心血管・腎・内分泌内科 小松 隆、橘 英明、佐藤 嘉洋  
小澤 真人、梶田 房紀、中村 元行
62. 左房前壁起源の focal atrial fibrillation の一例  
(財)太田総合病院附属太田西ノ内病院 循環器科 ○益田 淳朗、武田 寛人、中村 裕一  
金澤 晃子、石田 悟朗、遠藤 教子  
新妻 健夫、小松 宣夫  
福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座 竹石 恭知
63. 心房細動カテーテルアブレーション後の医原性心房中隔欠損症の一例  
仙台市立病院 循環器内科 ○中川 孝、八木 哲夫、滑川 明男  
石田 明彦、山科 順裕、佐藤 弘和  
櫻本万治郎、佐藤 英二、小松 寿里

### 第3会場

#### 不整脈3 (10:53 ~ 11:28)

座長 鈴木 均

64. 肺静脈内に血栓を認めた心房細動の1例

(財)太田総合病院附属太田西ノ内病院 循環器科

○石田 圭一、武田 寛人、金澤 晃子  
石田 悟朗、遠藤 教子、新妻 健夫  
小松 宣夫

65. 房室結節リエントリー性頻拍に対する CARTO を用いたアブレーションの有効性評価

秋田県成人病医療センター

○寺田 健、阿部 芳久、田村 善一  
寺田 茂則、熊谷 肇、佐藤 匡也  
門脇 謙  
小山 崇、伊藤 宏

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学

66. Torsade de points (TdP) を招いた抗不整脈薬による薬剤性 QT 延長症候群の1例

東北厚生年金病院 循環器センター

○田淵 晴名、法井 薫、金子 礼  
河部 周子、山口 濟、山家 実  
山中 多聞、中野 陽夫、片平 美明

67. 肺静脈隔離中に右上肺静脈内の高頻度興奮が関与した心房頻拍へ移行した発作性心房細動の1例

弘前大学 循環呼吸腎臓内科

○佐々木憲一、木村 正臣、大和田真玄  
堀内 大輔、石田 祐司、佐々木真吾  
奥村 謙

68. ASV を導入した超高齢者心不全の二例

市立秋田総合病院 循環器内科

○柴原 徹、奈良 育美、藤原 敏弥  
中川 正康  
伊藤 宏

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学

**YIA 審査会** 10:20～10:55

**心肺蘇生法普及委員会** 11:15～11:25

**総会・YIA 授賞式** 11:45～12:30

## 教育セッション1

**ランチョンセミナー1** 12:40～13:40 (第1会場:9階 第二講義室)

座長:岩手医科大学 心血管・腎・内分泌内科 教授 中村 元行 先生

「血糖管理による心血管不全治療ーインクレチン製剤への期待ー」

佐賀大学医学部 循環器内科

教授 野出 孝一 先生

共催:第154回日本循環器学会東北地方会

MSD株式会社

## 教育セッション2

**ランチョンセミナー2** 12:40～13:40 (第2会場:9階 第一講義室)

座長:山形大学 第一内科 教授 久保田 功 先生

「拡張不全に期待する診断法、治療法」

鳥取大学医学部 病態情報内科学

教授 山本 一博 先生

共催:第154回日本循環器学会東北地方会

ノバルティスファーマ株式会社

## 教育セッション3

**特別講演** 13:40～14:40 (第1会場:9階 第二講義室)

座長:秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学 教授 伊藤 宏 先生

「心血管インターベンションの変遷と今後の展望」

岩手医科大学 循環器内科

教授 森野 禎浩 先生

共催:第154回日本循環器学会東北地方会

第一三共株式会社

# 一般社団法人日本循環器学会東北支部規則

## (総則)

第1条 この会は一般社団法人日本循環器学会東北支部（以下「本支部」という。）と称し、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という。）の支部とする。

## (事務局)

第2条 本支部の事務局は、東北大学大学院医学系研究科循環器内科学に置く。

## (目的および事業)

第3条 本支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 東北支部における年2回の学術集会（地方会）の開催
- 2) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 3) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての東北支部における講習会等の開催
- 4) その他目的の達成に必要な事業

## (会員)

第4条 本支部の会員は、勤務先または居住地が日本循環器学会定款施行細則第16条に定める東北地区にある日本循環器学会の会員とする。

2. 本支部に名誉支部員・名誉特別会員を置く。

- 1) 名誉支部員は年齢65歳以上の会員で、支部評議員を3期以上務めた者とする。総会に出席して意見を述べることができるが、議決権は有しない。
- 2) 名誉特別会員は名誉支部員の条件に加え、東北地方会で会長を務めた者、支部長を務めた者とする。処遇については、名誉支部員に準用する。

## (社員の選出)

第5条 日本循環器学会本部からの委託により、本支部にて日本循環器学会の社員を選出する。

2. 選出する社員数は、日本循環器学会から指定された数とする。
3. 選挙権および被選挙権をもつものは、本支部の会員とする。

## (支部選挙管理委員会)

第6条 本支部に東北支部選挙管理委員会（以下「選挙管理委員会」という。）を置き、社員選出手続きを担当する。

2. 選挙管理委員会の委員長は、支部監事または支部幹事から選出し、支部総会で選任する。
3. 選挙管理委員は、会員から選出し、支部総会で選任する。
4. 選挙管理委員長は、選挙結果を支部総会および日本循環器学会に報告する。

## (社員選出方法)

第7条 第6条に定める社員は、第4条に定める会員の無記名投票により選出する。

2. 会員一人につき、一個の投票権とする。
3. 各都道府県毎の最多得票者を当選者として選出した後、全地区を対象として得票数の多い順から、第5条第2項に定める選出すべき数までを当選者とする。

## (社員の補充)

第8条 日本循環器学会から社員補充の依頼があった場合は、選挙管理委員会が直前の選挙結果に基づき得票数の多い順から補充すべき数までを社員として補充する。

2. 前項の規程に関わらず、前条第3項の都道府県条件を満たさない場合には、その条件を優先して補充する。

(支部評議員)

第9条 本支部に支部評議員若干名を置くことができる。

2. 支部評議員は、下記の規則に基づいて会員から選出し、支部総会で選任する。
3. 支部評議員の選出・辞職についての規程は、別に定める。
  - 1) 支部評議員の推薦を希望する者は、推薦理由と推薦される者の略歴を支部長に提出する。推薦の資格を有する者は本支部の日本循環器学会社員とする。
  - 2) 任期途中で支部評議員の辞職を希望する者は、理由を記した書面を支部長に提出する。
  - 3) 支部評議員の辞職および推薦は、支部総会の同意を必要とする。
4. 支部評議員は、総会を組織し、支部長の求めに応じて支部の運営についての諮問を行う。
5. 支部評議員の任期は4年とし、再任はさまたげない。役員に欠員が生じた場合は速やかに補充し、その任期は前任者の残任期間とする。

(支部長)

第10条 本支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は日本循環器学会理事から選出し、支部総会において選任する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期および定年については、日本循環器学会定款および定款施行細則に準ずる。

(支部幹事)

第11条 本支部に支部幹事若干名を置く。

2. 支部幹事は会員から支部総会において選任する。
3. 支部幹事は支部長を補佐し、支部運営にあたる。
4. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部監事)

第12条 本支部に支部監事若干名を置く。

2. 支部監事は会員から支部総会において選任する。
3. 支部監事は支部の事業および会計について監査を行い、不正の事実があれば支部総会あるいは日本循環器学会に報告する。
4. 支部監事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(地方会会長)

第13条 本支部に地方会会長1名を置く。

2. 地方会会長は会員から支部総会において選任する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理および事業内容を支部長に報告する。
4. 地方会会長の任期は、直前の地方会終了日の翌日から主催地方会終了日までとする。

(支部総会)

第14条 支部総会は、日本循環器学会の社員および支部で選出した支部評議員で構成する。

2. 支部総会は年1回以上開催し、以下の事項を審議する。
  - 1) 地方会会長の選出
  - 2) 地方会開催地の決定
  - 3) 支部事業計画および事業報告
  - 4) 社員および支部評議員の選出
  - 5) 本会規則の変更
  - 6) その他本会の運営に必要な事項
3. 支部総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは、支部監事が招集する。この場合、議長は支部総会議員の互選により選出する。
4. 支部総会は、支部総会議員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部総会の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(運営資金)

第15条 この支部の運営には次の資金を充てる。

- 1) 本部から助成される運営費
- 2) 地方会参加費
- 3) 事業に伴う収入
- 4) 寄付金
- 5) その他収入

(会計年度)

第16条 この支部の会計年度は、日本循環器学会定款に準ずる。

附則

- 1) この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2) 学術集会に演題を提出する者は原則として日本循環器学会に入会しなければならない。ただし支部長が許可した場合はその限りではない。

## 日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award 会則

1. 日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA) を設ける。
2. 本会則は平成 21 年 2 月 14 日に開催される第 147 回東北地方会から有効とし、本会則の変更は総会で審議・決定される。
3. 東北地方会 YIA の応募資格、応募方法は演題応募要領に記載するが、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
4. YIA 選考委員会は大会長を選考委員長として、各県大学の循環器内科教授 6 名と大会長が選出する 6 名の選考委員の計 12 名で構成される。選考委員の代理を置く場合は、大会長の推薦を必要とする。

## 第 154 回日本循環器学会東北地方会 Y I A 審査員（敬称略）

### 青森

弘前大学 循環呼吸腎臓内科学  
青森県立中央病院

教授 奥村 謙  
循環器センター長 藤野 安弘

### 岩手

岩手医科大学 心血管・腎・内分泌内科  
日高見中央クリニック

教授 中村 元行  
糖尿病センター長 瀬川 郁夫

### 秋田

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学  
秋田組合総合病院

教授 伊藤 宏  
副院長 齊藤 崇

### 山形

山形大学 第一内科  
篠田総合病院 循環器科

教授 久保田 功  
医長 池田こずえ

### 宮城

東北大学 循環器内科学  
仙台医療センター 循環器科

教授 下川 宏明  
循環器科部長 篠崎 毅

### 福島

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座  
大原総合病院附属大原医療センター 循環器内科

教授 竹石 恭知  
院長代理 石橋 敏幸

# 日本循環器学会東北支部役員（平成24年4月1日現在）

支部長	下川宏明																		
理事	下川宏明	伊藤宏																	
名誉特別会員	白土邦男 三浦 傅	平 則夫	平 盛勝彦	丸山幸夫															
名誉支部員	芦川 紘一 猪岡 英憲 大和田 一二 佐々木 司 立木 弥 布川 楷 元村 徹成	池田 幸典 今野 元俊 小鈴 盛 鈴木 英	田井 幸典 野木 直一 中野 俊英	精宏潤彦 宏潤彦夫 幸典元俊 英機	石遠香高田三保	出藤川橋卷浦嶋	信政 恒健幸	正夫謙男治雄実	伊大小高津室横	藤友岩松田井山	明喜福秀紘	一尚郎滋視一一							

## 支部評議員（各県ごと五十音順、○印は社員）

青森	○奥藤村野安	謙弘	長内智宏	花田裕之	福田幾夫														
岩手	青木英彦 佐藤須雅	那雅孝	伊藤智範	岡田均	林代小松元	隆行													
秋田	阿部芳久	藤川正康	○伊藤長谷川	門脇謙	小田林政	雄一之													
山形	熱海裕之 ○久保田野卷	廣八通	石後福渡	井藤邦明	小齋熊正樹	谷弘光	透章洋												
宮城	○伊藤金西富山	藤塚條岡家	健芳智	太完文子 <sup>2</sup>	○伊藤上佐福	貞正昇義	嘉博一弘 <sup>3</sup>	井小川内	上丸直人	加賀齋田柳	谷木林澤	佳眺輝	豊克一行 <sup>1</sup>						
福島	青木竹渡	木島石辺	孝幹恭毅	直博知毅	○石齋武	川藤和信	信一人	石齋橋敏幸	藤原富平	金杉横	澤山正	晴文齋 <sup>1</sup>							
会計監事	石出信正		猪岡英二																
幹事	福本義弘		伊藤健太																

1. 外科分野 2. 女性分野 3. その他の分野

## DVDセッション 「医療安全・医療倫理に関する講演会」

専門医の認定更新に必修の「医療安全・医療倫理に関する研修」に関する2単位を取得できるDVDセッションを開催致します。

3月の日本循環器学会学術総会もしくはインターネットでも視聴できます。

詳細は以下をご覧ください。

循環器専門医認定年度と必修研修取得期間について

認定年度	最新の認定 or 更新年度	現在の認定期間	必修研修取得期間
1993	2008年度	2008/4/1～ 2013/3/31	同左
1998			
2003			
2008			
1994	2009年度	2009/4/1～ 2014/3/31	同左
1999			
2004			
2009			
1990	2010年度	2010/4/1～ 2015/3/31	同左
1995			
2000			
2005			
2010			
1991	2011年度	2011/4/1～ 2016/3/31	同左
1996			
2001			
2006			
2011			
1992	2007年度	2007/4/1～ 2012/3/31	同左
1997			
2002			
2007			
2012			

＜必修研修と単位数＞

専門医制度委員会、理事会、2009年3月20日の評議員会の審議を経て循環器専門医認定更新の際に所定の研修が必修となりました。

専門医認定更新には下記の必修研修単位を含む合計50単位が必要となります。

(1) 最新医療の知識習得に関する研修・・・30単位以上

日本循環器学会主催の学術集会・地方会（いずれも教育セッションを含む）への参加にて単位を取得してください。

該当の研修単位数・・・本会年次学術集会 10単位、（学術集会時の）教育セッション 5単位、各地方会 5単位、（地方会時の）教育セッション 3単位

(2) **医療安全・医療倫理に関する研修・・・2単位以上**

本会学術集会または本会地方会で開催の「医療安全・医療倫理に関する講演会」への参加。あるいはインターネットでの視聴研修プログラムによる研修で単位を取得してください。

単位数・・・（上記どの方法で取得されても）2単位

**※同じ研修内容を視聴された場合には重複して単位は加算されませんのでご注意ください。**

お問い合わせ先：(社)日本循環器学会 専門医制度委員会 TEL：075-257-5830 E-mail: senmoni@j-circ.or.jp
--

